

事業計画書

現在の地域課題に対する本事業での実施内容	発達障がいや特性の強い子、不登校、イジメなどが全国的にも佐久市内でも年々増加しており、保護者が周囲の理解を得られずに悩み、孤独感を感じているケースも多い。そうした保護者やこの問題に関心を持っている市民に情報を発信し学び合える場として、講演会や映画上映会などを開くとともに、未就園児の保護者や妊婦などの居場所作りを行う。当団体のメンバーは様々な立場で子育てや教育に携わっており、発達障がいの子を持つ保護者もいるため、当事者の視点が必要とされている情報を考えながら「場作り」を企画し、共に学ぶ姿勢で取り組んでいく。
対象となる人・範囲	子どもや保護者、先生など子育て・教育に関わる全ての人
事業の効果、達成目標 (達成目標はできる限り数値で示すこと)	▼専門家や様々な立場の人から知識や意識の持ちようを学ぶことで、参加者が不安を解消したり、子育ての悩みを軽減したりできる。その場合は、同じような悩みを抱えている保護者同士が交流を深めたり、先輩保護者からアドバイスをもらったりできる「居場所」にもなる。単に「居場所」として設けるのみではなく、「学びの場」と連動させることで、より活発な会話や交流のきっかけを作ることでもでき、期待や楽しさを感じられる子育て家庭を増やしていく。
記載ポイント	▼保育士や教職員など子どもと関わっている参加者と交流することで、保護者が現場の状況への理解を深め、保護者が子育て関係機関や学校に「求める」ばかりではなく、より良い環境作りのために子育て機関などと「協力し合う」意識の醸成につながり、現場の負担軽減や生き生きとした子育て・教育環境の実現にもつながる。
事業の・公益性	▼達成目標（目標動員数）：上映会2回（300人）、講演会2回（計100人）、座談会・学習会8回（計160人）・・・総動員目標：約560人
詳細 (活動内容・方法・スケジュール等をできるだけ詳しく、別添資料のある場合はその旨を記載する)	▼6月、映画「ゆめパのじかん」上映会&トークショー 創錬センター会議室（2月頃にもう1回上映会を予定） ▼8月、12月 講演会（講師、内容は未定だが子育て・教育分野の有識者を予定） ▼4、5、7、9、10、11、1、3月 未就園児の保護者らを対象とした座談会・学習会 ▼ホームページの開設、YouTubeでの動画配信 ▼イベント後に毎回アンケートで今後の活動に対する声を聞き取り、それを参考にして活動内容や座談会・学習会のテーマなどを決めていく。座談会・学習会などは新型コロナの感染状況も踏まえ、Zoomによるオンライン開催やハイブリッド開催も検討する。ホームページは情報発信の拠点として開設。子育て・教育に関する情報発信やイベント参加者との自由な意見交換、情報共有などができる場にしていく。YouTubeは若年層の視聴率が非常に高いSNSであり、個人情報保護に配慮しつつ、開催イベントの録画配信や、下記のような視察内容の紹介などを行う場とする。 ▼参考までに、支援金の対象外だが先進的な取り組みを行っている学校や施設などへの視察勉強会を計画している。南アルプス小学校、伊那小学校、川崎市の「こども夢パーク」など。 ▼当団体メンバーはPTA、不登校支援、特別支援教育、児童館、コミュニティスクール、教育委員会など様々な立場で子どもに携わっており、現場の実情や日々の対話で保護者らから聞いている声を踏まえ、社会で求められている活動を幅広い視野で検討できる強みがある【＝独自性】 ▼昨年10月に実施した映画上映会&パネルディスカッションでは、メンバーの人脈を通じて10人を越えるボランティアスタッフの協力を得ることができ、2日間で子どもも含め計200人以上を集客した。その際の協力者は今後も活動への参加、協力が期待できる【＝実現可能性】 ▼昨年の上映会や後日開催した「感想シェア会」やアンケートでは「今後もこうした取り組みを続けていってほしい」という声や、具体的なイベントのアイデアなどが寄せられており、参加者のアイデアもいただきながら活動が幅広く発展していく可能性が大いにある【＝発展性】 ▼昨年の上映会は参加者からの入場料収入で経費をほぼまかなうことができた。今後、本格的に活動していくにあたって、ホームページ開設などスタート段階で行政の支援をいただきながら、積極的に活動の輪、共感の輪を広げて協力メンバーや「ファン」を増やし、企画面でも収益面でも自立して継続的に活動できる団体を目指していく【＝団体の自立促進】
重点テーマに該当する理由	▼重点テーマ2「子育て等に不安を抱える保護者の居場所を作る取組」：座談会・学習会といった「交流の場」を継続的に設けることで、参加者相互の関係性が深まり、「居場所」としての機能も充実したものになっていくと考えている。特に未就園児の保護者や妊婦の中には、これからの子育てに対して不安をかかえている人も多いため、専門性を持つ講師やイベント参加者、先輩保護者でもある当団体メンバーらと交流を深めることで、不安を解消したり、情報を得たり、子育てに前向きな気持ちを持ったりしてもらえる場を目指している。
翌年度以降の取組	▼今年度の活動の中で吸い上げた声をもとに、より「求められている情報」にフォーカスした企画を立案していく。 ▼今年度の活動を通して子育てや教育に関心のある参加者との関係を築くと同時に波及効果を狙う。上映会で映画に共感した保護者や子育て関係者、教員らによる保育園や学校、地域での上映会開催や、学習会の学びを地域へ持ち帰って広める機会を作ってもらい、輪を広げていく。 ▼発足からこれまで約半年で、活動を通じて様々な方と関係を築くことができています。今後さらに輪を広げていくことで、講演会や学習会の内容もより充実していくと考えています。